

**【提案の内容】小野町にバレーチーム(v2)を作りたい**

①概要

社会人のスポーツチームの存続が非常に難しくなっているため、地域おこしの1つとしてバレーチーム(日本の社会人バレーボール・Vリーグの2部リーグ)をつくってはどうか。また、ビーチバレーも手軽にできるスポーツであるため、人を集める効果が高い。ビーチバレーに力を入れるのも良いのではないかと。

②具体的な提案内容

●バレーボール

- ・町主導(トレーナーなどの町雇用)によるクラブチームづくり
- ・練習場所は日中の町民体育館を活用
- ・将来的に町の誘致企業に買収してもらい、専属でトレーニングしてもらう。
- ・町出身者の人脈を活用し、実際に活動する団体等に合宿等で町の施設を使ってもらおう。
- ・バレーの町、ビーチバレーの町として売り出すことで知名度を上げる。

●ビーチバレー

- ・ビーチバレーは気軽にできるため、人を集める効果が高いと思われる。
- ・コートは安価で整備できる。(町の公園、工業団地内など)
- ・大会等を開くことにより人を多く町に呼び込むことができる。

③効果

- ・2部リーグ昇格は難しい目標ではあるが、町に貢献できる所も多いはずである。
- ・中学・高校への指導もでき、魅力あるまちづくりにおいてに寄与できるはずである。
- ・メンバーには町の団地等に住んでもらうことで人口増・税収増につなげることができる。

**【対応の内容】**

この度は、おのまち夢企画へご提案いただき、誠にありがとうございました。

小野町にバレーボールチーム(Vリーグ 2部チャレンジリーグ)ができれば、バレーボールの普及だけでなく地域の活性化、企業誘致、人口増加等にも大変有効であると思われれます。

社会人チームを作るにはまず、Vリーグ機構にチームとして加盟し、社会貢献活動(地域の少年団の指導や講習会の開催等)や、全国規模の大会へ出場し実績を上げていくことが条件となっており、選手確保や資金面においても高いハードルがあります。

町としては、各関係団体と連携・協力しバレーボールの更なる普及を図り、社会人バレーボールチームを育てる気運の盛り上がりを見守ってまいります。

次に、ビーチバレーについてですが、誘客や交流、大きな話題性にもなり、魅力あるまちづくりに寄与する部分もあると思います。しかし、コート整備の一般的な例をみると、浜辺の砂を利用しての設置となっており、当町のような山間部では、場所の確保、海砂の運搬と整備、また長期的な維持・管理の面などにおいて、多くの課題があります。

今後は長い目で、ビーチバレーボールの紹介、普及に努めてまいります。

貴重なご提案ありがとうございました。

**【提案の内容】ミネラル野菜・美女伝説(登録商標)を使ったレストラン、直売所の経営**

①概要

町が主体となってミネラル野菜・美女伝説(登録商標)等を利用したレストラン・直売所の経営を一体的に行い、農業振興、観光振興、雇用確保、若年世代の流出防止につなげ、魅力ある町づくりをしていくべきである。なお、建設場所として、高速IC側の海洋センター下駐車場を提案したい。

②具体的な提案内容

●ミネラル野菜等を使用し、他店と差別化を図ったレストランの経営

- ・普段家庭で食べることのない食材、家庭でできない味付けで他店との差別化を図る。
- ・レシピを公開し、家庭でも農産物を調理して食べられるシステムを作る。
- ・レストラン経営の目的のひとつとして、喜んで農業をやる環境づくりを重要視し、農産物の販売システムを作り、農家の利益率向上に結びつける。

●安くて新鮮な野菜販売などを目的とした直売所の経営

- ・不揃いの野菜などを箱売りや詰め合わせで低価格販売する。
- ・観光振興など町の活性化につなげることを目的とする。
- ・一人暮らしの人たちも顧客にするため、バラエティーに富んだ安価な商品を提供する。

●手作りドレッシング・漬物などの販売

- ・カクテキやオイキムチ、ドレッシングなど自宅であまり作らないものなどを、「安全安心」をキーワードに商品開発を行い、レシピを添えて販売する。

●その他

- ・直売所とレストランを核として、街中にも人を呼び込むイベント(歩行者天国、流し踊り、よさこい踊り、ビーチバレー、ほろ酔いウォーク、料理教室など)を月1回程度開催し、市街地活性化、観光客の誘客につなげる。
- ・レストラン、直売所の建物には費用がかかるが、雇用の促進・農業振興・若い世代の町外流出防止に効果が見込める。労働環境がないため今後、人口流出が進み悪影響が出てくるので、行政が人口減少を食い止める事業をどんどん行ってほしい。

**【対応の内容】**

町内で採れる新鮮でおいしい野菜を使った料理を提供して、農産物を安価に購入できる施設が同じ場所にあれば、観光客の食事・休憩などの場として多くの利用者が見込まれ、農産物の販路拡大による生産農家の経営安定、雇用の創出という面からも大きな効果が期待されます。また、この施設を核としての各種イベント開催は、魅力あるまちづくりにも結びつくものだと思います。

ご提案の内容を実現するためには、レストラン・直売所経営のノウハウを有する人材と組織、多額の費用が必要となります。経営手法は様々考えられますが、基本的には地域の方々が主体となって進め、継続していくことが大切であると考えます。

現在町では、ミネラル野菜などの安全でおいしい農産物の生産を推進しております。また、今年度から小野町商工会内に「地域資源開発検討委員会」が組織され、農作物など町内にある地域資源を活用した特産品づくりの取り組みを始めていますので、ご提案いただきました内容を同委員会に報告するとともに、町でも地場産品の活用、直売所の運営などについて積極的に検討してまいりたいと考えています。

貴重なご提案ありがとうございました。

おのまち夢企画提案は、自分自身の描く小野町への「夢」や「想い」を自由に提案できる制度です。これまで最も貴重な企画・提案が寄せられています。皆さんもぜひ、この機会に提案してみませんか？

提案には必ず名前を書いてください。(匿名での提案は受け付けできません)

提案された方への内容の確認や回答のために必要な情報です。

名前のほかにも、住所、年齢、性別、連絡先を記入してください。

記入された個人情報はこの目的以外には使用しません。

◆問い合わせ

企画商工課 ☎72-6939 FAX 71-1037 E-mail:kikakusyokouka@town.ono.fukushima.jp